

# THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

よいことのために手を取りあおう  親睦と奉仕の輪を広げてたのしもう！！

RI会長 フランシスコ・アレツォ

2025～2026

富津中央RC会長 岡田良弘

国際ロータリー 第2790地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12  
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

## No.2843 第32回例会 2026. 4. 16 晴

点 鐘：岡田良弘 会長

進 行：新橋悠実瑛副 S A A 志波生朗副 S A A

ソング：四つのテスト

お客様：坂本秀則 様 社会福祉協議会事務局長

### 会長挨拶

岡田良弘 会長



みなさん、こんにちは 最初にお客様をご紹介します。社会福祉法人富津市社会福祉協議会事務局長 坂本秀則様です。お忙しい中ありがとうございます。後ほど卓話をお願いいたします。

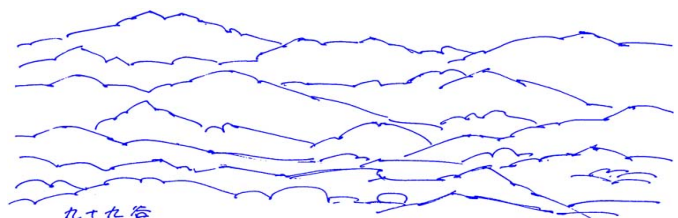
春風が心地よい季節になってきました。出かけたくなる陽気が続いています。

さて、5月21日に親睦研修旅行があります。米山梅吉記念館への見学へ行きます。そこで米山梅吉翁について、みなさんご存じの方が多いと思いますがすこしお話ししたいと思います。幼くして父を亡くし、静岡・三島で育った梅吉翁は、学びへの強い思いを抱きながらも、当時の環境では十分な教育を受けることが難しい状況家を出て、箱根の山を徒歩

で越えて上京したと伝えられています。無鉄砲さではなく、静かな決意が彼を動かした出来事だったのでしょうか。その後、働きながら学ぶために単身でアメリカへ渡り、八年間にわたり苦学を続けました。掃除や雑務など、どんな仕事も厭わず、夜は勉学に励む日々だったと言われています。帰国後は三井銀行の常務取締役、三井信託の初代社長として日本の金融界に貢献し、さらに東京ロータリークラブを創設して奉仕の理念を広めました。梅吉翁が大切にした「人々からしてほしいと望むことを、人々にもその通りにすること」という言葉は、彼の人生そのものを表しているように思います。

明治から昭和にかけて活躍した実業家であり、教育者であり、そして奉仕の理念を日本に根づかせた先駆者でした。若い頃から「人を育てることが社会をつくる」という強い信念を持ち、教育事業や青少年育成に情熱を注ぎました。その思いは、1921年に日本初のロータリークラブが誕生する際にも大きな原動力となり、ロータリーの理念を日本に広める中心的な役割を果たしました。また、米山梅吉翁が生涯を通じて語り続けたのが、国境を越えた理解と友情の大切さです。「未来をつくるのは人である」という彼の考えは、後に米山奨学事業として形となり、今も多くの留学生を支えています。これは、彼の精神が時代を超えて生き続けている証でもあります。米山梅吉翁の人生は、奉仕とは何か、人を育てるとはどういうことかを私たちに問いかけます。今日の記念館見学が、彼の思想や生き方に触れ、私

〒293-0043 富津市岩瀬 841-3  
いち川旅館  
Ichikawa ryokan  
841-3 Iwase Futtsu-shi Chiba-ken,  
293-0043  
Tel. 0439-65-0177 Fax. 0439-65-0178  
URL <http://www.futtsuchuo-rotary.org>



たち自身の奉仕のあり方を見つめ直す機会となれば幸いです。少し硬い話になってしまいましたが研修旅行では皆さんとの親睦を深め楽しい旅行にしたいと思います。三嶋大社に参拝をしたり、おいしいなごの昼食も用意していますので楽しみにしてください。

よろしく願いいたします。

## 幹事報告

渡辺哲夫 幹事



1. 青森県東方沖地震支援金について回覧
2. 財団奨学生・学友会のビデオ卓話申込の案内回覧
3. 3月期 MCR レポート送付のお知らせ回覧
4. コーディネーターNEWS5月号回覧
5. 富津シティ・富津中央 RC 合同例会出欠回覧
6. 多田勇会員より病気の快気祝いを頂きました。

## 外部卓話

### 『富津市社会福祉協議会事業計画』

社会福祉協議会事務局長 坂本秀則 様



皆様、社会福祉法人 富津市社会福祉協議会事務局長の坂本でございます。富津中央RC様には、毎年、少年野球大会にご支援をいただいております。

り感謝申し上げます。

「社会福祉協議会」は、市役所とは、別団体の「民間組織で社会福祉法人」であり、社会福祉法という法律に、「地域福祉を推進する団体」として、位置づけられており、「社協」と呼ばれています。社協は、「地域住民や行政・ボランティア団体・専門組織と協力・連携しながら活動し、皆さんが住み慣れた地域で、安心して暮らしていけるまちづくり」を目指しています。

私ども、社協の主な収入源は、市民の皆様からの社協会費、市民や企業、団体の皆様からの寄付金、歳末たすけあいを含む共同募金会からの配分金、富津市からの補助及び交付金、各種受託事業などの事業収入です。令和8年度の事業予算は、約1億8,900万円を計上しております。

次に、「富津市社会福祉協議会の令和8年度事業計画について」を、ご紹介させていただきます。皆様、仏教の「三尺三寸箸 極楽の箸はなぜ長いのか」と言う話があります。ご存じの方もいらっしゃると思いますが、ご紹介させていただきます。

ここでの「お互い様」の考え方が、大切であると考えています。度の事業計画の要点をご説明させていただきます。

はじめに、「基本方針」となります。富津市は2040年には、65歳以上の高齢化率が、約50%に達すると推測されます。市内の天羽地区においては、この4月現在では、49.77%で、すでに2人に1人が高齢者となっている状況にあります。

この「超高齢社会」が一段と加速し、認知症や経済的な不安、社会とのつながりの希薄化など、家族や個人だけでは、支えきれない複合的な課題が増加しており、超高齢社会における地域課題への対応として、地域全体で支え合う仕組みがこれまで以上に求められております。このような状況の中で、私ども本会は、「第1次中期経営計画」を令和8年度からスタートしました。

この「第1次中期経営計画」とはですが、社協が「地域福祉を推進する中核的な団体」としての使命や経営理念、基本方針などを明確にし、その実現に向けた組織体制、事業展開、財務などに関する

具体的な取り組みを示した「行動計画」というものがあります。本計画のテーマである「みんなでつくり心ふれあう ハートフルタウン」を掲げ、体制づくりを進めていきます。また、判断能力に不安のある方の暮らしと権利を守るため、その人らしさや思いを大切に「権利擁護」の視点を基本とした支援を行います。「成年後見制度中核機関」を、令和8年度から新たに富津市から受託し、開始してまいります。

そして、「明日は我が身」、「お互い様」という思いを共有し合える『コンパッション・コミュニティ』の形成を進めていきます。これは、医療や福祉の専門職だけに任せるのではなく、住民や学校、企業、行政など地域全体が協力して、困難な状況にある人を支え合うという考え方で、誰もが住んでよかったですと感ぜられる地域づくりを、住民の皆様と共に着実に進めてまいります。

令和8年度は、「第1次中期経営計画」をスタートさせる重要な初年度として、5点を重点的に推進してまいります。

「重点事項1」として、「法人運営基盤の強化と持続可能な組織づくり」です。中期経営計画に基づきまして、組織運営や事業展開、人員配置の最適化や、透明性の高い組織運営や安定した財源確保に努めるとともに、災害時に備えた事業継続計画(BCP)の体制を整え、経営基盤を構築します。

「重点事項2」として、「職員が安心して働ける職場環境づくり」です。職員の人員体制の整備や、職員の心身の健康管理を徹底し、各種研修の充実を図ることで、多様化するニーズに対応できる専門性と実践力を高めます。

「重点事項3」として、「地域福祉の推進と孤立防止」です。地区社会福祉協議会や民生・児童委員、皆様などとの関係機関等との連携による見守り体制を充実させ、複合的な課題の解決や孤立の早期発見・支援につなげます。

「重点事項4」として、「成年後見制度中核機関」を中心とした権利擁護の推進です。今まで、私ども本会は、「法人後見人」として、認知症等の方々の支援をしてきましたが、新たに「中核機関」というものを富津市から受託し、稼働することで、「成年後

見制度」の相談支援や利用促進等を行いながら、医療・福祉など様々な関係機関と連携して、地域全体で権利を守る仕組みを構築します。

「重点事項5」として、「コンパッション・コミュニティの形成」です。「コンパッション・コミュニティ」という言葉は、先ほど申し上げましたが、福祉教育や地域活動、ボランティア活動の支援を通じて、住民主体の福祉活動を推進するとともに、一人ひとりが福祉の担い手となって支え合う地域づくりを進めてまいります。

最後に私ども富津市社協の事業で、多くの皆さんにご利用されているサービスをご紹介します。富津市には、旧小学校区単位を基にした11地区に「地区社会福祉協議会」があり、地域の特性に応じた活動を展開していただいております。この地域住民が主体となって、地域総ぐるみで住みよいまちづくりを目指し、様々な活動を行っています。車椅子の貸し出しや車椅子のまま乗れる福祉カーの無料貸し出しも多くの方にご利用いただいております。

法律相談です。法的な問題でお困りの方に、木更津市の「かずさ法律事務所」と契約し、月2回、おひとり25分間の無料相談を実施しております。相談内容の主なものは、相続や権利関係、離婚についてなどが多くなっています。

「福祉緊急通報システム設置事業」ですが、65歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、緊急時に身に着けている発信器のボタンを押すと、離れて暮らしている子供さんや親戚、知人へ連絡が入るといったものです。

「交通手段支援事業」です。自らの交通手段が無い方で、自宅から通院や買い物などができる支援をボランティアの方の協力で実施しております。

各種貸付事業も実施しております。

誰かが直面している困難は、もしかすると、明日、私たち自身のものになるかもしれない。この想像力が、他人事を「自分事」として捉える第一歩です。「明日は我が身」です。

私たちには、「困った時は、お互い様」の精神があります。古くから続く日本の美しい価値観だと言

われています。そして、皆様にも、「気づき」と言う道具を持ち歩いていただき、是非、使ってください。  
 「みんなでつろう 心ふれあう ハートフルタウン」は、「明日は我が身」、そして「お互い様」の2つの心によって、つくり上がっていくものだと思います。皆様の「お力」を貸していただき、ともに支えあう地域社会を目指して、人生最期は、「このまちに住んでよかった」と思える富津市を、ともにつくっていきましょう！とお願いして、終わります。ありがとうございました。

## 会員報告

### 『羊の毛刈りパーティについて』

津田 望 会員



4月26日(日)のぞみ牧場学園にて4頭の羊の毛刈りを行います。フリーマーケットやキッチンカーなどが来ます。また子どもたちの歌や踊りもあります。今年ハサックスのプロ集団「テアトルサックスカルテット」の演奏もあります。是非お出かけください。



### 『富津ふるさと祭りについて』

栗原典子 会員

皆様こんにちは。渡しの親戚が富津ふるさとまつりの実行委員のメンバーで、盆踊りの参加連として是非、富津中央RCの皆さんにご参加して頂けますでしょうか！ふるさととの輪をキャッチフレーズに興味ある方、ご参加宜しくお願ひ致します。

### ニコニコBOX

栗原典子 親睦担当部長

岡田良弘 本日のお客様、富津市社協坂本秀則事務局長をお迎えして。

(渡辺哲夫・相川恵津子・新橋悠実瑛・栗原典子)

\*津田望 法人各施設が無事に新年度開始した。白石幸久 坂本局長様、卓話ありがとうございます。栗原会員先日仲間が大変お世話になりました。

\*神子勝美 誕生祝を頂きありがとうございました。  
 \*榎本守男 社協の坂本秀則様卓話有難うございました。12日米山奨学委員会のオリエンテーションに参加し、私がカウンセラーを務める中国ウイングルの女子学生ナディル・エミルディンさんとお会いしました。身長170センチある朗らかで優秀な学生です。次年度から毎月クラブに出席しますので宜しくお願いします。

\* >1,000円 合計13,000円

### 出席報告

平川恵敏 出席担当部長

区分	会員数	出席	欠席	MUp	出席率
今回	41/42	26	25	1	63.41%
前回	41/42	23	20	3	56.10%
前々回	42/42	28	15	2	66.67%

出席率の計算式

$$\frac{\text{当日出席した会員数} + \text{Makeupした会員数}}{\text{全正会員数} - \text{当日欠席した免除適用会員数}}$$